

## 7 羽生市の沿革

- ・ 明治 22 年 4 月 1 日 町村制施行により、32 村が合併し、羽生町、新郷村、須影村、岩瀬村、川俣村、井泉村、手子林村、中島村の 1 町 7 村となる。
- ・ 昭和 29 年 9 月 1 日 羽生町外 6 ケ村が解体合併し、県下 16 番目、全国 434 番目の市として羽生市が誕生。  
世帯数 6,604 戸、人口 36,564 人  
面積 44.59 平方キロメートル
- ・ 昭和 30 年 1 月 1 日 三田ヶ谷村、村君村の解体合併により、千代田村となる。  
世帯数 1,084 戸、人口 6,559 人  
面積 14.48 平方キロメートル (S30 年国勢調査)
- ・ 昭和 34 年 4 月 1 日 千代田村が羽生市に編入合併。  
世帯数 7,892 戸、人口 44,092 人  
面積 59.20 平方キロメートル